

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん さっぽろこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 札幌交響楽団		https://www.sso.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 宮口宏夫		
制作団体所在地	〒 064-0931	最寄り駅(バス停)	札幌市営地下鉄南北線 中島公園
	札幌市中央区中島公園1番15号(札幌コンサートホール内)		
電話番号	011-520-1771		
ふりがな 公演団体名	さっぽろこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	札幌交響楽団		https://www.sso.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 宮口宏夫		
公演団体所在地	〒 064-0931	最寄り駅(バス停)	札幌市営地下鉄南北線 中島公園
	札幌市中央区中島公園1番15号(札幌コンサートホール内)		
制作団体 設立年月	昭和36年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 宮口宏夫 副理事長 田中良治、藤田久雄 専務理事 鳥居和比徒 他理事16名/監事2名/評議員20名		首席指揮者 マティアス・バーメルト 入団条件:一般公募のオーディションを実施。楽団員過半数の賛成票を得た者について選考委員会で協議、理事会決定。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	事業部 種池純子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	総務営業部長 庄司寿子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	taneike@sso.or.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1961年7月に札幌市民交響楽団として発足。翌年3月には財団法人札幌交響楽団となり、2009年10月に公益財団法人へ移行。北海道唯一のプロオーケストラとして「札幌」の愛称で親しまれる。2021年に創立60周年を迎え、より多くの道民に愛されるべく意欲的な活動を続けている。</p> <p>現在2名のコンサートマスターを含む76名の楽団員が在籍。年間約120回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を北海道全域で展開している。60年の歴史の中では50周年のヨーロッパツアーなど節目ごとに海外公演を行い、これまでにアメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博した。</p> <p>歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカなどが務め、現在は首席指揮者 マティアス・バーメルト、名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、正指揮者 川瀬賢太郎を擁する。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●札幌市内全小学6年生を対象とした音楽鑑賞教室「Kitaraファーストコンサート」(札幌市主催/年間12公演) ※平成16年度より継続実施、年間約20,000名が参加</li> <li>●北海道内各地での小中学生を対象とした音楽鑑賞教室(各自治体、教育委員会主催/北海道内8市町村)</li> <li>●高等学校主催の芸術鑑賞会(高校との共催で実施)</li> </ul> <p>そのほか、吹奏楽部員向けの楽器講習会、ワークショップ等を毎年多数実施しています。</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>例年、北海道内の特別支援学校7校でのアンサンブルコンサートを実施しています。(2004年から継続事業。北海道教職員互助会助成事業)</p> <p>コンサートの実施については、各校の児童生徒の日常の様子、好きな楽曲や現在取り組んでいる楽器などについて担当教職員の方と詳細に打ち合わせを行い、ふだんコンサート会場に足を運ぶ機会の少ない児童生徒のみなさんも楽しめるように、楽器編成や選曲を工夫しています。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://kodomogeijutsu.go.jp/video/music/s/c24.html">https://kodomogeijutsu.go.jp/video/music/s/c24.html</a></p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 札幌交響楽団 】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	おんぷでステップ ♪ みんなのオーケストラ			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>♪アンダーソン/舞踏会の美女 ＜弦楽器紹介コーナー＞</p> <p>♪レスピーギ/「リュートのための古風な舞曲とアリア」第3組曲より“シチリアーナ” ＜管・打楽器・Hp紹介コーナー＞</p> <p>♪チャイコフスキー/バレエ「くるみ割り人形」より“花のワルツ” ＜指揮者体験コーナー＞</p> <p>♪ブラームス/ハンガリー舞曲第5番</p> <p>♪J.シュトラウスⅡ/トリッチ・トラッチ・ポルカ</p> <p>♪みんなで歌おう～訪問校校歌</p> <p>♪外山雄三/管弦楽のためのラプソディ</p>			
	公演時間 約75 分			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	管弦楽のためのラプソディ 訪問校校歌
	該当事項がある場合	権利者名 (株)全音楽譜出版社 他	許諾確認状況	採択後手続き予定
演目概要	誰もが耳にしたことのある、親しみやすいメロディーの数々を、「踊り」をテーマにプログラミング。華やかな舞踏会やおとぎ話の世界のダンスを思い浮かべたり、日本の古い民謡を通して伝統文化を感じたり、リズムに乗って自然に体が動き出すようなコンサートです。楽曲演奏の合間には、オーケストラを構成する楽器をひとつずつご紹介、すぐ近くで見て、聴いて、楽しくクラシック音楽に触れることができます。			
演目選択理由	初めてオーケストラの演奏を聴く児童生徒にも楽しんでもらえるように、どこかで聴いたことのある親しみやすい楽曲を選択しています。テーマとした「踊り」は神への祈り、コミュニケーションの手段、自己感情表現など、様々な目的のために古くから歴史や文化を表してきました。また、作曲家が古い時代や民俗的な音楽に心惹かれ、自身の作品として新たに編んだ作品を通して、国や地域、時代を超えた文化の伝承としてのクラシック音楽の意味を伝えたいと考えます。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>★指揮者体験コーナー 児童生徒の代表者に、実際にオーケストラの指揮をしていただきます。指揮者によって、オーケストラの音楽がどのように変わるのか、会場の皆さんで実感していただけます。</p> <p>★みんなで歌おう～訪問校校歌 各校の校歌をフルオーケストラにアレンジ、全員で合唱して頂きます。</p>			
出演者	<p>指揮とお話: 円光寺雅彦</p> <p>管弦楽: 札幌交響楽団(2管10型) ※別添メンバーリストあり</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 59 名	運搬	積載量: 10 t	
	スタッフ: 10 名		車長: 12 m	
	合計: 69 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	9:00~11:00	14:00	無	15:30~17:00	17時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	11月	12月	1月	計	6日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	指揮者体験:3名、合唱:全校生徒
		鑑賞人数目安	300名



ステージ上とフロアを使用して演奏スペースとしています。  
 ※演奏スペースに必要な広さ：間口約16m、奥行き約9m  
 ※体育館の広さ、児童生徒数によって、設置場所や方法は調整いたします。

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)



楽器紹介コーナーでは、児童生徒の目の前で演奏します。

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 札幌交響楽団 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	50～300名
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>■演奏者4～6名のメンバーで実施します。</p> <p>1時間目：各教室や特別教室でのクラスワーク</p> <p>* 児童生徒の教室を演奏者がそれぞれ順番に回って自己紹介。各演奏者の楽器についてや、音楽のレクチャーをしたり、オーケストラのお仕事についてなど。</p> <p>* 児童生徒に学校の様子などを質問します。楽しいこと、好きな音楽、学校の自慢など。</p> <p>* 5～10分ごとに演奏者が次々と入れ替わります。</p> <p>2時間目：体育館や多目的スペースなど、広い場所に集合</p> <p>* クラスワークでお話したことの復習（演奏者や楽器のことなど）</p> <p>* アンサンブル演奏の鑑賞 →色々な場所から鑑賞してみる。 →リズムや調性について学び、音楽を構成する要素、仕組みを理解する。</p> <p>* 「校歌」の歌詞についてみんなで考えてみる。 →学校や地域、その歴史や、自分の住むまちについて考える。 →本公演での校歌演奏の際に、発表してもらう準備をする。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>* 初めて会う「演奏家」個人に親しみを持ってもらい、その演奏家が所属するオーケストラやクラシック音楽を身近に感じてもらえるように交流を深め、本公演にも積極的に参加できるようにしたい。</p> <p>* 職業としての音楽家について理解し、自分の将来について考えるきっかけを提供したい。</p> <p>* 演奏者個人のお話や近い距離で演奏を鑑賞することで、コミュニケーションと自己表現の重要性を感じてもらいたい。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>* 対象人数や学年は問いません。 * 実施校のご都合に合わせて実施時間、プログラムを調整します。</p>		



本事業への申請理由

【公演団体名

札幌交響楽団

】

## ①本事業に対する取り組み姿勢

音楽芸術は、その長い歴史の中で様々な時代や地域、社会の特性そのものを表しています。よく一般に考えられるような単なる文化遺産ではなく、遠い国、はるか昔の人々の暮らしや感情を生き生きと私たちに伝えてくれます。

自然への畏敬の念と神への祈り、コミュニケーションや感情表現の手段として、音楽は常に人々の生活に寄り添い存在してきました。社会の変容とともにその形を変えながら現在に続き、人々の心と生活を豊かに彩る音楽文化の継承は、プロフェッショナルの芸術団体にとって重要な存在意義であり義務だと考えます。

また、北海道唯一のプロ・オーケストラである当団は、地域の文化芸術を牽引する団体として、青少年への音楽文化普及を活動の大きな柱のひとつとしており、青少年対象の芸術鑑賞会、楽器指導、アンサンブルコンサートなどのアウトリーチ活動を数多く実施しています。その目的は、芸術音楽の素晴らしさ、その楽しみ方を伝えることはもちろん、音楽を通して世界中の歴史や文化を知り、そこから未来を創造する個性を育むことです。このことは本事業の主旨と共通であり、未来を担う子どもたちへ贈るべき平等な機会だと考えます。

経済効率優先の現代社会において、芸術文化の振興は最優先事項ではないかもしれませんが、低迷が続く日本の国際的な競争力を維持・向上するためには、人材育成が欠かせません。子どもたちがグローバル社会を生き抜くために必要な教養、そして豊かな感性を育むために、音楽文化を直接身近で体験することは有効な手段のひとつであると信じています。

楽団創立60年を超える当団は、トップレベルの文化芸術団体であることを自負し、その歴史と活動の成果を社会に還元すべく、本事業に取り組んでまいります。

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

オーケストラ公演は演奏者の人数が多く、楽器搬入や舞台の設置に関しても、実施校の全面的なご協力が必要となります。また、ご担当の教職員の方に音楽の専門知識があるとは限らないので、必要な準備や対応について、詳細な資料を用意するなど、丁寧に調整を進めます。

また、実施校のみなさんに少しでも興味を持っていただけるように、楽団公式SNSによる情報発信もご紹介していきます。

ワークショップから本公演に向けて、また本公演終了後にも継続的に児童生徒が興味を持ってくれるように、アンケートやワークシートを作成します。

リンク先	No.2	【公演団体名	札幌交響楽団	】
No.2別紙 メンバー表	札幌交響楽団			
	【コンサートマスター】			
	会田 莉凡 田島 高宏			
	【1stヴァイオリン】			
	飯村 真理 赤間 さゆら 井上 澄子 岡部 亜希子 河邊 俊和 高木 優樹			
	竹中 遥加 ディパスクアーレ・ヴィンチェンツォ 橋本 幸子 三原 豊彦			
	【2ndヴァイオリン】			
	桐原 宗生 小林 美和子 熊谷 勇大 佐藤 郁子 多賀 万純 鶴野 紘之			
	土井 奏 富田 麻衣子 中村 菜見子 福井 岳雄 山下 暁子			
	【ヴィオラ】			
	廣狩 亮 青木 晃一 荒木 聖子 鈴木 勇人 仁木 彩子 橋本 純一郎			
	樋本 朱音 原 香奈恵 水戸 英典 物部 憲一			
	【チェロ】			
	石川 祐支 猿渡 輔 荒木 均 小野木 遼 角野 友則 武田 芽衣			
	廣狩 理栄 横山 桂			
	【コントラバス】			
	吉田 聖也 稲橋 賢二 飯田 啓典 大澤 敬 斎藤 正樹 下川 朗			
	【フルート】			
	川口 晃 福島 さゆり			
	【オーボエ】			
関 美矢子 浅原 由香 宮城 完爾				
【クラリネット】				
三瓶 佳紀 白子 正樹				
【ファゴット】				
坂口 聡 夏山 朋子 村上 敦				
【ホルン】				
山田 圭祐 土谷 瞳 岩佐 朋彦 折笠 和樹 島方 晴康 花澤 良平				
【トランペット】				
福田 善亮 鶴田 麻記 小林 昌平 佐藤 誠				
【トロンボーン】				
山下 友輔 中野 耕太郎 田中 徹 澤山 雄介				
【チューバ】				
玉木 亮一				
【打楽器】				
入川 奨 大家 和樹 大垣内 英伸 細江 真弓				
【ハープ】				
エキストラ奏者				
※上記は在籍する楽団員のリストです。この中から出番を調整して出演します。(2023/10/1現在)				